

FIGARO

Follow me!

 Instagram MARUOKASHIRONOMACHICC
 城のまちコミセン公式Instagram登録は
 こちらのQRコードから!



コミセン活動スケッチ



しろまちなかふえ

城のまち区長
 会長 吉田 雄一

このたび、城のまち区長会の会長を拝命いたしました乾町区の吉田雄一と申します。歴史ある丸岡の城下町、城のまちの区長会長の重責を担うこととなり、身の引き締まる思いでございます。

私たちのまちは、古くからの城下町として、歴史と伝統、そして何より「人のつながり」を大切に守り抜いてきた誇り高き地域です。私自身、生まれた時からこの城のまちに親しみ、「お天守」に見守られながら育ってまいりました。そんな伝統あるまちで暮らす私たちにも、少子高齢化や生活様式の変化など、環境は目まぐるしく変化しています。解決しなくてはならない問題が山積している状況なのです。そのような状況の中で、「情報共有の充実」、「防災・防犯体制の強化」、「世代を超えた交流の促進」などは、市や町にお願いするだけではなく、自治区内でも活発的に進めていかなくてはならない課題だと思っております。だからこそ、地域のつながりを守り、次の世代へ受け継いでいく自治会の役割は、ますます重要になっていくと感じております。「城のまち」がこれまでであったように、お互いに顔の見える関係を大切に、困ったときには手を差し伸べ合えるそんな温かく、かつ強靱なコミュニティづくりを目指し、そのお手伝いをさせて頂ければと思っております。もちろん一人の力ではなし得ません。区民の皆様お一人おひとりの知恵と経験、そして地域を思う温かいお気持ちがあつてこそ、城のまちの未来は支えられていくと考えています。この古城の石垣のように、お一人おひとりがしっかりと支え合うことで、この先も受け継いでいけるのだと信じています。どうかこれまでと変わらぬご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後にになりましたが、城のまちがこれからも地域の誇りとして輝き続けるよう、そして区民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに貢献できますよう、微力ながら力を尽くす所存です。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ギャラリー・しろまちなかふえ

しろまちなかふえの一角にある「みんなのギャラリー」では地域の皆さんの作品展示スペースとして貸出しています。

《展示作品を募集》

- 展示期間：約2週間
- 展示場所：城のまちコミセンのしろまちなかふえ内
- 問い合わせ：コミセン窓口までお気軽にお声掛けください。



「まるおか子供歌舞伎」の発展を願って

城丸部会 会長 竹 吉 睦

平成十四年から始まった「まるおか子供歌舞伎」は、昨年一月に、ハートピア春江で二十回目の記念公演が行われました。「まるおか子供歌舞伎」の発足は、大阪道頓堀中座の破風を譲り受けたことがきっかけです。平成十一年に中座が閉館となり、大阪府指定文化財であった破風の移転先を募集したところ、名乗りを上げた十数ヶ所の中から、唯一関西ではない丸岡町が譲り受けることになりました。解体された破風と緞帳は、トラック約十台で運ばれ、お披露目の日には、県外も含めて約四千人が集まったとのことでした。

一六六一年(寛文元年)に落成した中座は、江戸時代「中の芝居」と呼ばれ、約三五〇年間、同じ場所で行なわれ、演劇史上最も貴重な劇場の一つでした。江戸時代には、江戸三座に対する浪花五座の中心として数々の演目が上演され、「和事」の芸を確立した初代坂田藤十郎ら多くの役者が活躍しました。大正時代、ライバル関係にあった初代中村鴈治郎と十一代目片岡仁左衛門が、関東大震災後に中座で共演を果たし、戦後は、松竹新喜劇の拠点として、二代目渋谷天外の後を継いだ藤山寛美が中座を取り仕切りました。

「まるおか子供歌舞伎」では、これまで、「加賀見山田錦絵」(八回)、「仮名手本忠臣蔵」(十回)、「妹背山女庭訓」(十五回)、「傾城反魂香」(十七回)など歌舞伎を代表する演目が数多く上演されましたが、松竹新喜劇由来の演目も含まれています。十一回に上演された「春重四海波」、十二回に上演された「喜有福満祭提灯」の二つです。「春重四海波」は松竹新喜劇の礎を築いた曾我五郎の作品を水口一夫さんが脚色。初めて上演されたのは、映画「国宝」の舞台となった出石市の永楽館で、主演は片岡愛之助。「喜有福満祭提灯」も松竹新喜劇の「お祭り提灯」を水口一夫さんが脚色したものです。昨年九月、発足時から「まるおか子供歌舞伎」のご指導をいただいた松竹の水口一夫さんが亡くなりました。水口一夫さんのご冥福をお祈りするとともに、これまでのご指導に感謝を申し上げる次第です。貴重な地芝居である「まるおか子供歌舞伎」の発展を願ってやみません。

編集後記

先日、新東名高速の最高速120km/h区間を初めて運転して静岡県に行ってきた。片側三車線、左側車線は主に最高速90km/h制限の大型トラックが走っていたのですが、そのトラックが前の車を追い越そうとして中央の車線にたまに入ってきてます。すると、中央の車線で120km/h走行中の乗用車と速度差があり過ぎて乗用車がブレーキを踏む状態が何回かありました。車間距離が大事ですね。(T・M)

本町通り谷町通り約1kmの商店街は旧丸岡町時代からのメインストリートです。皆さんはこの両側に駐車看板があるのをご存知ですか。以前は両側とも駐車禁止でしたが、三十年程前から一ヶ月おきに東側西側の車道が駐車可能になり、その際「城丸くん」の看板が二十二ヶ所に設置されました。さて、現在はどうなっているでしょう。平成七年九月から新しく坂井市のマスコットキャラクター「ほや丸」にリニューアルされました。この看板を目印に駐車していただき商店街を大いに利用して下さい。(お天守丸)

丸岡城観光情報センター「丸岡城マチヨリマーケット」が昨年三月十五日にオープンし、水盤もほぼ完成。風のない日には丸岡城が水盤に映って逆さ丸岡城が楽しめます。四月以降、丸岡城が二年の月日をかけて改修工事に入る予定です。観光客への影響も懸念されますが、いろいろな工夫で丸岡を盛り上げていけるといいですね。(FALCON)



02

城のまちフェスティバル【ワッショイ部会】 令和7年8月31日(日)

午前中は、子ども縁日が開かれ、平章小学校の6年生が体験コーナーとして「スライムづくり」とペットボトルのふたを利用した「スタンプづくり」をやってくれました。またゲームコーナーでは平章小学校の4, 5, 6年生がスタッフとなり、子どもたちはボールすくい、ヨーヨー釣り、くじ引き、スマートボール、射的などをしてみんな楽しそうでした。また、丸岡工匠組合による木製イスづくり、ミニ生け花体験、子ども茶道教室によるお茶席なども行われました。

午後からはステージ発表として、丸岡中学校吹奏楽部演奏、緑幼稚園児による歌の発表、霞幼稚園児による太鼓演奏、しろの子認定こども園職員による和太鼓演奏などがあり、バルーンアートショーも行われ大変好評でした。

最後には、おたのしみ抽選会が行われました。



11



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12

- ①おまつりのちいさな真剣勝負!! どっちがたくさんすぐえるかな
- ②展示コーナーでは園児や小学生の力作揃い
- ③織日のスマートボール屋さん。本日の店員は小学生
- ④丸岡工匠組合・大工さんに教わる木製イスづくり体験
- ⑤さあ、なにがでるでしょう～?
- ⑥城元和太鼓隊～enishi～(しろの子認定こども園職員)迫力満点☆の力強い和太鼓
- ⑦お茶人さん、お手前中です
- ⑧霞幼稚園5歳児の和太鼓。力いっぱいたたいています
- ⑨ペットボトルのキャップでオリジナルスタンプづくり
- ⑩ねらってねらって…射的にチャレンジ!
- ⑪丸岡中学校吹奏楽部、会場が盛り上がりました!!
- ⑫緑幼稚園のかわいいおうちの発表!



『子どもたちの「～したい」であふれるまちづくり』

01

丸岡城サミット【城丸部会】 令和7年11月28日(金)

第7回丸岡城サミットは、お城博士ちゃんとして知られる栗原響大さんをお迎えし、平章小学校体育館で開催されました。参加校は平章小学校、高椋小学校、長畝小学校、丸岡中学校の4校となりました。各学校とも丸岡城に関する歴史や文化などの探求活動の成果を発表し、後半では栗原さんと各学校の代表によるトークセッションが行われました。



平章小学校5年生
「広めよう!丸岡城の魅力PR隊」
丸岡城についての提案



高椋小学校3年生
「つなごう!丸岡城のきせきのバトン
～過去・現在・そして未来へ」



長畝小学校3年生
「のうねっこが丸岡城をもりあげる」
丸岡城をもりあげる工夫



丸岡中学校2年生(丸岡LIKERS)
「古城まつりの総踊りに参加した経験を
もとに劇を交えた発表」



栗原さんと各校代表とのトークセッション
栗原さんから「丸岡城にもキャッチフレーズがあるとよい。丸岡城をもっとインパクトのあるお城としてアピールする必要がある。」というお話をいただきました。



04

みんなの歴史学習会【城丸部会】

第1回歴史学習会 令和7年7月12日(土)

「楽しく分かるべらぼうの時代」

～田沼政権交代の舞台裏、蔦重と江戸の本屋
松平定信と有馬訢純など～



第2回歴史学習会 令和7年11月15日(土)

「内堀散策」

観光ボランティアガイドのご協力を得て、丸岡城内堀の周辺を巡りました。



『歴史が薫る城下 を次の世代に』

03

空き家活用イベント 【空き家活用プロジェクト】

小学生、中学生、高校生、大学生、地域住民の皆様のご協力により空き家のDIYによる改修をはじめ2年目になりますが、これまでウッドデッキづくりやキッチンの改修、シャッターアートなどを手掛けてきました。

空き家の利用者も少しずつ増えてきており、今年は学生さんや民間の団体による楽しいイベントなども開催されましたので、そのうちのいくつかを紹介します。



令和7年8月24日(日)
丸岡中学校 丸岡LOVERSによる子ども夏まつり

05

丸岡古城まつり からくり人形山車巡行 令和7年10月12日(日)

丸岡古城まつりのからくり人形山車巡行が晴天のもと行われ、区長会、まちづくり協議会ほか丸岡町内の各地区の皆様のご協力により、「本多作左衛門」および「本多成重」のからくり人形山車2基が城のまち地区内を練り歩きました。

囃子方の子もたちも太鼓や笛の音に合わせ、力強いバチさばきを見せてくれました。



令和7年10月12日(日)
福井県立大学生による宝探し大作戦



令和7年12月14日(日)
坂井市アナログ帰宅部(県内高校生)による
カフェ・体験コーナー・学習スペース・交流スペース





『地域の絆づくり』

08

習いごとマッチング【地域の絆づくりプロジェクト】

地域の絆を強くするきっかけづくり
「習いたい人」と「できる人」をマッチング

令和7年5月10日(土)



プランターで夏野菜を作ろう

令和7年12月13日(土)



ポチ袋・箸袋の作成

06

子ども餅つき体験

【寺子屋部会】

令和7年12月20日(土)

平章小学校の親子が集まり餅つきの体験をしました。つきたての白餅・草餅・クルミ餅などとてもおいしくいただきました。



07

バレンタインミニコンサート

【寺子屋部会】

令和8年2月22日(日)

金管アンサンブル「ギャランズ」のユーモラスな寸劇を交えた素敵な演奏やエレクトーンの楽しい演奏、そしてフルートのミニトーク付きの素晴らしい演奏などバレンタインコンサートにふさわしいロマンチックなひとときを過ごしました。



コミセン講座

放課後子ども教室



元気になる!リンパ体操 (5月~11月)



子ども生け花教室 (5月~12月)



子ども茶道教室 (5月~12月)

お花の寄せ植え教室 令和7年11月29日(土)

